

岩手県野田村の支援・交流活動報告（2014年11月1日）

本日は、午後から雨が降るとのことで、曇空の中、弘前を出発しました。参加者は、市民参加者8名、学生40名、学生事務局3名、教員1名の計52名でした。今回は臨時便として、野田村でのイベント『秋のスマイル大収穫祭 うんめえ NODA まんぶくマルシェ』に参加する予定になっており、バスはほぼ満席、さらに学生数が多かったこともあり、大いに活気づいたスタートとなりました。

花輪サービスエリアで休憩をとったあと、バスの中では自己紹介を行いました。冗談を交えた、若さあふれる自己紹介が続きました。その後、学生事務局が作成した活動記録のDVDを上映し、教員事務局・栗原から野田村支援・交流活動の経緯、活動内容、および活動にあたっての諸注意について、説明を行いました。



道の駅「おりつめ」での記念撮影

今回は、野田村でのイベントへの参加を予定していましたが、現地に着くと、野田村の方は本学のボランティアチームが来ることは予定していなかったとのことでした。そこで、急遽、役場の方と婦人会の方が、イベントの手伝いなどを割り当ててくださいました。改めて、今回のボランティアの活動内容は、①イベント内の店舗のお手伝い（ドーナツ、焼き鳥、焼き芋、豚汁・おそば、くじ引きなど）、②キッズスペースの設営、③イベント設営のお手伝い（テント張りなど）、④イベントへの参加・交流、⑤野田村のバスツアーとなりました。

- ① イベント内の店舗のお手伝いでは、学生が主体となって参加し、焼き芋や焼き鳥を初めて焼いたり、綿菓子を初めて作ったり、イベントでのお手伝いを通して野田村の皆さんに多くのことを教わりました。
- ② 子どもたちと遊ぶキッズスペースは、当初予定されていなかったのですが、一部の空きスペースをお借りして設営することができました。午後からは雨が降り始めましたが、そんな雨など

気にせず、子どもたちは次々に参加し、楽しげな笑い声を上げていました。

- ③ イベント設営のお手伝いでは、午後から降り始めた雨対策として、テント張りと椅子の移動、土嚢運びなどを行いました。
- ④ イベントへの参加・交流では、何度も活動に参加されているベテランの市民の方々は、現地の方との談笑で盛り上がっていました。また、学生たちも、いつもはお弁当持参でなかなか地元の味を知る機会はなかったのですが、今回は野田村のおそば、豚汁、田楽やお菓子などを味わうことができました。
- ⑤ 晴れていれば、初参加の学生を対象に徒歩で野田村のツアーを予定していましたが、午後からは雨が降っていたため、バスで野田村を一周するツアーを行い、被災した海岸沿いを見学しました。



ドーナツ販売の様子



やきいも販売の様子



キッズスペースでの活動の様子



野田村での交流・歓談の様子

最後に、連絡の不備のため突然の訪問にも関わらず、イベントのお手伝いなどを手配して下さった役場の方々、婦人会の方々には、お詫びとともに心から感謝申し上げます。また市民の皆さんや学生ボランティア参加者のご協力、ドライバーさんとバスガイドさんのご支援により、滞りなく活動を進めることができました。みなさんのご協力に深く感謝申し上げます。

(担当:栗原由紀子)